

# 奥能登原木しいたけ 「のとてまり」・「のと115」だより

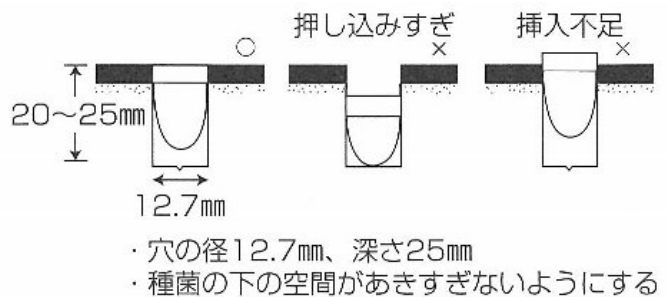
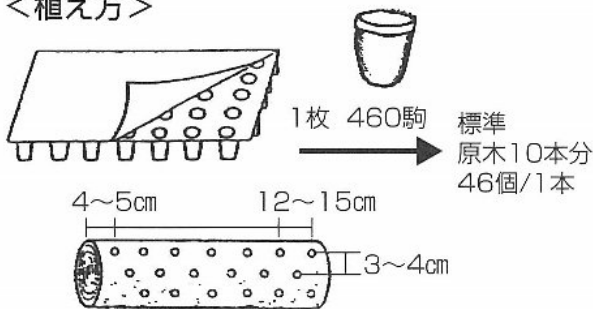
<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県農林総合研究センター

## 植菌時の注意点

※第8号(通巻20号)参照

- ・列の間隔は3、4cm程度です。間隔があきすぎると菌のまわりが悪くなり、雑菌が侵入する原因となるので注意してください。
- ・孔の深さは25mmが適切です。作業の合間にドリルのストッパーが緩んでいないか確認してください。

<植え方>



## 植菌後の管理

- ・気象庁の1ヶ月予報では、気温が高く、降水量が少ない予報になっています。
- ・発泡栓をめぐって菌の状態を確認してください。
- ・種菌が乾燥している場合は、ほだ木全体がしっとりぬれる程度の散水を3日に1回程度実施してください。

<良くない状態>



オガクズがパラパラと崩れてくる  
→ 菌糸が弱っており、このまま夏を迎えると菌が死んでしまい、しいたけの芽ができなくなる。

<良い状態>



オガクズの粒が見えないか、見えても孔の中がガムのように弾力がある  
→ 孔の中に菌糸が充実しており、うまく夏を越すと秋にしいたけの芽ができてくる。

※ 同じ伏せ込み場所でも微妙に環境が異なります。地面に近い方、遠い方、山側、谷側など、条件が異なる複数のほだ木を確認し、まんべんなく良いほだ木になるよう目を配りましょう。